

●メッセージ

1992年パリ13大学医薬学部で自然療法を学びました。植物の機能性成分を身体に取り入れることで生理活性を起こし、健康に近づけていくケアの事を言います。現在ではメディカルハーブを学べる学校をパリ13大学の協力を得て、東京に設立して13年目になります。弊社の事業としてはフィットセラピーをベースとした商品の研究製造販売を行っています。最近ではデリケートゾーンケア商品からタンチュメールという欧州では飲むためのメディカルハーブエキスなども製造しております。

主に女性たちが学んでくださっている中で、そのノウハウを利用して独自の実業を目指してほしいと考えてきました。

2007年ユネスコ主催の国際女性デーに講師として呼んでいただきフランスで日本女性のライフスタイル及び日本女性の課題というテーマでお話をしました。

先進国の中でも女性の働き方に大きな課題があります。妊娠出産においても同様です。マルチタスクな女性のライフスタイルに国の応援の無さを痛感しています。私はフィットセラピーを推奨する立場の中で女性の健康、デリケートゾーンに関係する性科学にもメスを入れ成熟した生き方を目指せる女性のライフスタイルを応援できる活動をしていきたいと考えております。女性財団が日本女性の新たなステージを作り上げられる礎になることを祈りつつ私も頑張りたいと考えています。